

# 京都駅南口駅前広場整備事業 事業概要・草花配置図

～京の駅前庭園として四季の彩り・香りに満ちた駅前広場～

企画者：京都市建設局

## 整備の方針

空港も港もない京都市にとっては、京都駅がすべてのおもてなしの玄関口です。1日60万人以上の乗降客がご利用になる日本屈指のターミナルは、日本国内はもとより、世界から大きな注目を集める京都の「顔」といっても過言ではありません。そんな京都駅の南口駅前広場の再整備を行っています。この再整備は、雨に濡れることなくアクセスできる集約されたバス・タクシー乗り場の設置、既存の八条通の車線数を減らすことにより大きく広がる歩行者空間の確保など、人にやさしい配慮の行き届いた新たな駅前広場となる予定です。

この再整備に合わせ、大きく広がる歩行者空間に、京の駅前庭園として、四季の彩り、香りを盛り込んだ樹木を植栽することで、人にやさしく、さらに、京都らしい憩いの空間を創造するものです。

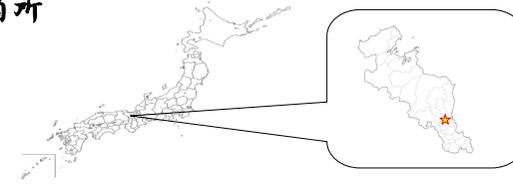
あわせて、市民との共汗による樹木を植えるゾーンを設けるなど、将来にわたり親しまれる広場となるよう進めて行くものです。

この駅前広場をご利用される市民の方々をはじめ、国内外の方々が、「日本に、世界に京都があってよかった」と実感していただける、彩りと香りを盛り込んだ魅力あふれる駅前広場となるよう再整備していきます。

## 主なゾーンの概要

京都駅南口駅前広場整備事業に係る植栽計画については、京都のイメージを踏まえ、歩道に併設する自転車駐輪場と歩道とを「桜並木ゾーン」としてアマノガワなどで仕切り歩行空間を生み出すことや、歩道幅幅により多くのスペースを確保し「京の花・木ゾーン」として京都になじみのあるシダレザクラやイロハモミジ、コブシワグサメモリーを南北に植樹し、京都らしい憩いの空間を創出します。「中央分離帯」には、京都市の花・ツツジを、花の少ない夏期にはサルスベリ、「歩道植栽」には、キンモクセイ、モミジバフウや低木（春に咲くヒラドツツジ、花香りがするコクチナシ、ジンチョウゲ、春～夏に黄色い花を咲かせるヒベリカム等）、「市民との共汗ゾーン」には、京都にゆかりのある植栽（フジバカマ、キキョウなど）となるよう市民とともに育成・管理し、それぞれに、京都らしい樹種、四季の彩り、香りを楽しめる樹種を選定した植栽計画としています。

## 企画箇所



京都府京都市  
京都駅南口

## 植栽一覧表

桜並木ゾーン	・アマノガワ	8本
	・ヒラドツツジ	208株
京の花・木ゾーン	・シダレザクラ	1本
	・コブシワグサメモリー	2本
	・イロハモミジ	1本
中央分離帯	・サルスベリ	27本
	・ケヤキ	2本
	・ツツジ	800株
歩道植栽	・クスノキ (既存木)	1本
	・イチョウ (既存木)	7本
	・モミジバフウ	32本
	・キンモクセイ	8本
	・ハナミズキ	5本
	・ヒラドツツジ	1,720株
	・コクチナシ	584本
	・ジンチョウゲ	286株
	・ヒベリカムヒデオート	1,022株
	・ヒベリカムカリシナム	2,199株
市民との共汗ゾーン	テーマ (京にゆかりのある植栽など)	

### 桜並木ゾーン

- ・アマノガワ
- ・ヒラドツツジ



### 植栽計画箇所図

京都駅南口

### 中央分離帯

- ・サルスベリ
- ・ケヤキ
- ・ツツジ



京都市建設局マスコットキャラクター

### 歩道植栽

- ・クスノキ (既存木)
- ・イチョウ (既存木)
- ・ハナミズキ
- ・モミジバフウ
- ・キンモクセイ
- ・ジンチョウゲ
- ・ヒラドツツジ
- ・コクチナシ
- ・ヒベリカムヒデオート
- ・ヒベリカムカリシナム



### 京の花・木ゾーン

- ・シダレザクラ
- ・コブシワグサメモリー
- ・イロハモミジ



### 市民との共汗ゾーン

- ・京都にゆかりのある植栽 ((フジバカマ、キキョウ、オケラなど)となるよう市民参加型の植栽

## 四季の彩り・香りのシーズン

春

夏

秋

冬

桜並木



京の花・木



中央分離帯



歩道植栽

